



懸け橋

練馬区立石神井西中学校
学校だより 第4号
平成30年7月19日
校長 松丸 晴美

「もうひとつの夏休みのチャレンジ」

このところの猛暑と生徒達の熱気に、教室のクーラーも悲鳴をあげているかのようです。一方で、プールからは涼しそうな水音が聞こえ、1年生の臨海学校に向けた、隊列を組んだ平泳ぎの練習が着々と進んでいます。

西日本をおそった記録的な豪雨は多くの地域に甚大な被害をもたらしました。学校教育に関してはあまり大きく報道はされていませんが、きっと児童生徒の学校生活にも大きな影響が及んでいると思われれます。対して、本校では、滞りなく教育活動が進められて、生徒達が元気に活動しています。改めて感謝するとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災以来、大学生を始め多くの一般の人達のボランティア活動が活発になっています。今回甚大な被害を被った西日本の各地へもすでに大勢のボランティアが駆けつけ、土砂にまみれた家屋の片付けなど、厳しい暑さの中で活動しています。何か手伝えることはないかと参加を申し出る高校生もいるそうです。

ホームページによると「ボランティアは、水や食料、スコップなど全て自分で用意して来てほしい、できれば近隣市内の人達にお願いしたい」とありました。遠方にいる私達にできることは、募金や寄付など、間接的な支援方法が中心になるのでしょうか。



本校では、「困難な状況にある人達に対して中学生にもできる支援活動は何か」ということについて考えてほしいとの願いから、先月の全校朝礼では「イラク 遠い生活再建 避難民の子 学校行けず」という新聞記事をもとに、「世界の避難民の子供たちを助けることにつながることを全校生徒で考えました。小学校や中学校での経験をもとに、「ユニセフ募金や古着回収に協力する」と答えた生徒が多かった中で、きらりと光る意見もありました。「そういう子ども達の存在に関心をもつ」「物を粗末にせず大切に扱う」「将来大人になった時に助けられる人になれるように努力する」といった、どれも間接的ですが、素晴らしい考えだと感心をしました。

中でも私が、「こんな中学生に育ててくれたらうれしいなあ」と思ったのは「今、学校に通って授業を受けたり、友達や家族と笑って過ごせたり、食事ができることに感謝して過ごす」「どんな活動にも一生懸命に取り組み、身近に困っている人がいたら手を貸す」「地域や JRC 委員会のボランティア活動に参加する」と書かれていた考えです。

明後日から44日間の夏休みが始まります。勉強や部活動、家族旅行など予定はたくさんあると思いますが、合間に、本校 JRC 委員会企画の夏休み保育補助ボランティアや東京都や練馬区で募集している中学生向けの体験活動、通称『夏ボラ』に参加してみるのも有意義な夏休みの過ごし方の一つになるのではないのでしょうか？

このところ寝苦しい日も増えてきました。上手に体調管理をしながら、一人一人の生徒が充実した夏休みを過ごし、9月3日には元気に2学期の挨拶をかわしたいと思います。

道徳授業地区公開講座（7月14日午前）

道徳推進教師 川島 彩加

今年度の道徳授業地区公開講座では、「社会参画、公共の精神」を共通テーマとして道徳授業の公開と講演会を行いました。

道徳授業では、学年毎に現代社会における様々な問題を話題に取り上げ、「より良い社会を実現するために、自分にできることは何か」ということを生徒同士で話し合いました。



1 学年では、東日本大震災の際に岩手県大船渡市の中学校で生徒会有志によって発行された校内新聞を用いて、もし自分がその場にいたらどうするかということを考えました。生徒はみなボランティアに臨む人達の「困っている人がいたら助けてい。」という一つの思いに共感し、一人一人がどのように努力すれば良いかを真剣に話し合っていました。

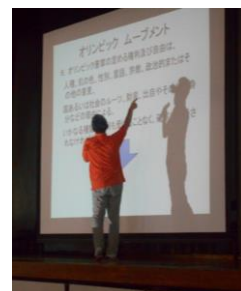
2 学年では、かつての富士山のゴミ問題を取り上げ、人々のどういう気持ちや考えがこのような問題を引き起こすのか話し合いました。またこのゴミ問題をきっかけに、普段の生活でも自身の甘さが社会に迷惑をかけていないかをふり返り、社会連帯のために何を心がけて生活していくべきかということを考えました。



発見や気づきを得ることができました。

3 学年でも同じく公共の場でのゴミ問題について話し合いました。お花見シーズンの公園や連休中の高速道路のサービスエリアで見られるゴミ箱の現状を知り、ゴミ箱設置の是非を議論しました。街をきれいにするためには何をすべきか、社会が抱える問題に目を向け自分自身の意見をお互いがぶつけることで新しい

発見や気づきを得ることができました。講演会では日本外国語専門学校から中島誠之先生を講師に招き、『オリンピズムとオリンピックムーブメント—東京 2020 に向けて—』という演題で、中島先生自身のオリンピックボランティアの経験談を含め貴重なお話を聞きました。2年後に迫った東京オリンピック・パラリンピック。競技や選手にスポットが当たりがちですが、その裏では多くのボランティアの方が関わっています。中島先生も長野オリンピックをはじめ、たくさんの国際大会に関わってこられました。その活動の中で気付いたことや学んだことは多く、石西中学生にもぜひこれからの学校生活に生かしてほしいことばかりでした。オリンピックの根底にあるのは世界平和であり、全ての人が笑顔で過ごせる社会の実現です。そのためには思いやりや自分と違う人を理解する心を持ち、互いに協調して生きていくことが大切だということをお話から学びました。残念ながら、現在の中学生は年齢的にボランティアとして大会運営に直接関わることはできません。しかし、直接でなくても日本以外の国を応援したり、外国語で挨拶したりするだけでも日本と参加国とを結ぶことにつながります。一人一人にできることは些細なことかもしれませんが、それが社会を支えていくための大きな力になる、そのことを実感できる有意義な講演会でした。



小学生との交流 ～ 児童・生徒会サミット ～ (7月14日午後)

生活指導主任 佐藤 由乃

石神井西小学校・関町小学校・立野小学校の代表児童、本校生徒会が一堂に会し、児童・生徒会サミットが行われました。このサミットは、小中連携の一環として始まり、今回で4回目となります。サミットの前半は、あるテーマについてそれぞれの学校で調べたことを発表し合い、後半は生徒会役員がグループの中心となり、児童と話し合いの場をもちます。今回のテーマは、「いじめ」です。各小学校では、共通のアンケートをもとに、分析結果や独自の考察を、様々な工夫をしながら発表していました。本校生徒会では、本校で起こる生徒間トラブルの大半を占めている、“SNS”によるトラブルから、いじめに発展する危険について考え、発表しました。小学生は手作りの掲示物や、時間をかけて練習をしたことが感じられるハキハキとした立派な発表で、生徒会役員も感心しながら見ていました。生徒会では、パソコンで作成したものに演技や会話風のやりとりを入れ、小学生にもわかりやすいように発表していました。互いが刺激を受けているような、そんな発表の場となりました。

4回目を迎えた児童・生徒会サミットですが、本校生徒会役員7名中4名が、小学生の時にこのサミットに参加しています。「小学生から中学生に上るときの不安を少しでも解消し、新しい環境でスムーズに学校生活を送れるように」との目的がある小中連携ですが、児童が「あの先輩のようになりたいな」と、目標をもつ一つの場となっていることに、この会が有意義な時間であると感じました。各校の発表をもとに、いじめ撲滅についてグループディスカッションする時間では、生徒会役員が、児童の様々な発言や質問をよく聞き、一つ一つ丁寧に答え、話し合いをまとめていました。その姿には、大きな成長とともに、たくましさを感じました。また、夏休み明けは、「思いやりの木」についての取り組みも始まります。これは、“いじめ撲滅宣言”と称して、一人一人が葉っぱにいじめ防止につながる決意を書き、それを大きな木に貼って、右の写真のように一つの作品に仕上げるといふものです。各小学校で一つ、中学校では各学年で一つ。計六本の大きな木の絵を美術部の協力のもと作成し、当日各小学校へ渡しました。多くの児童生徒の、いじめ撲滅に向けた決意を記した葉でいっぱいになった木を、各学校で掲示し、いじめ撲滅に向けた啓発運動の一つとしていきます。



この写真がサンプルとして提示されました。

部活動表彰の記録

陸上部

第 32 回東京リレーカーニバル(6/23、7/1) 公益財団法人東京都陸上競技協会主催

男子中学 3 年 100m 第 1 位 記録 11 秒 77 秋山 陸

男子中学 3 年 100m 第 7 位 記録 12 秒 15 藤村慶弥

男子中学共通 200m 第 5 位 記録 23 秒 97 藤村慶弥

男子中学共通 110mH 第 5 位 記録 16 秒 98 大井颯人

男子中学共通 4×100m 第 3 位 記録 45 秒 55

佐藤匠真、秋山 陸、大井颯人、藤村慶弥

女子中学共通 800m 第 7 位 記録 2 分 37 秒 03 窪田こころ

女子中学低学年 4×100m 第 5 位 記録 55 秒 22

川崎啓子、渡邊凜織、西田麻沙、宮川琴音

第 57 回東京都中学校総合体育大会 第 71 回東京都中学校陸上競技選手権大会(7/8)

男子 1 年 1500m 第 4 位 記録 4 分 34 秒 91 中村悠人

第 56 回 練馬区総合体育大会 選手権大会

ソフトテニス部 男子団体(6/17) 第 5 位 (都大会団体 7/24、個人ダブルス 7/21)

卓球部 女子シングルス(6/23) 第 1 位 吉岡桜子、第 2 位 川村碧子、

第 5 位 岩崎 泉、第 9 位 木村菜々 (都大会 7/30)

女子団体(6/30)優勝 (都大会進出 7/31)

男子バスケットボール部 (7/1)優勝 (都大会 7/21～)

女子バスケットボール部 (7/1)優勝 (都大会 7/21～)

バドミントン部 男子団体(7/1)第 4 位(都大会 B ブロック予選 8 位、都大会本選 7/24)

学校閉庁日のお知らせ

8 月 15 日 (水)、16 日 (木) は学校閉庁日とさせていただきます。2 日間とも職員の勤務はありません。8 時から 21 時半まで施設管理員が管理をします。

事件、事故等の緊急の用件で学校に連絡を取りたい場合は、上記時間帯に学校に電話をしてください。施設管理員より管理職に緊急連絡が入るようにしてあります。施設管理員は校内巡回等で電話に出られない時間帯もありますのでご了承ください。

2018 ジュニアスポーツアジア交流大会選手の学校訪問 (文化交流) のお知らせ

標記の大会に出場するジャカルタ (インドネシア)、シンガポールのバドミントン、卓球チーム (16 歳未満の健常者 24 名、5 名の障害者選手、チームスタッフ) の 44 名が 8 月 22 日 (水) 8:45～12:45 に本校を訪れます。国を超えた相互理解を深めるため、選手団に石神井西中生徒から日本文化の紹介等を行い、国際交流を図ります。バドミントン部、卓球部員以外にも、吹奏楽部、生徒会、JRC 委員会および有志が参加します。保護者・地域の皆様も、ご参観ください。